

再発見！何でも見てやろう トピックス（2025年1月）

京都大学総合博物館訪問

池上憲治 石黒洋子



2025年1月6回の再発見！何でも見てやろうの講座は、京都市左京区吉田町にある京都大学総合博物館訪問でした。この京都大学総合博物館は、受講生のほとんどが初めてという事で、貴重な機会でした。

この講座で京都大学総合博物館を訪問先に選んだ理由として、日本最大規模の大学博物館であり、日本初の本格的で、社会に開かれた大学の窓口のユニバーシティ・ミュージアムである事です。

京都大学総合博物館



ナウマンゾウ（左）とアジアゾウ（右）の頭骨



ランビルの森

総合博物館には、自然史・技術史・文化史の各コーナーがあり、沢山の展示物が詳しい説明と共に展示されています。ビデオコーナーでビデオを観たり、チンパンジーとの知恵比べコーナーもあり、多彩な内容です。

昼食後は、京都大学のシンボルの時計台がある百周年時計台記念館へ行き、京都大学と前身の第三高等学校に関する展示・資料を見学しました。

京都大学百周年時計台記念



京都大学での見学を終了し、東にある吉田山山麓の吉田神社本宮、お菓子の祖と言われる菓祖神社、その山手にある明治天皇胞衣塚、料理の神様である山蔭神社、そして坂を上ったところにある吉田神社・斎場所大元宮と案内し、その大元宮がかつては日本全国の八百万の神々を祀った吉田神道の中心地であった事を説明し、表から内部に見える八角形の神殿を皆、興味深く見学していました。



吉田神社本宮



吉田神社斎場所大元宮

そして、そこから、吉田山頂にある古民家喫茶店「茂庵」では、希望者約10人が入店し、北にある今出川通りへ降りて、今出川通りを西へ歩き、百万遍知恩寺と法然上人御廟と案内しました。

百万遍知恩寺は、法然上人の遺跡である加茂釈迦堂を前身とした浄土宗の大本山で、元弘元年(1331)大地震が発生した際に疫病が流行り、第八世善阿空圓上人が勅命により百萬遍の念仏を唱えて疫病を鎮め、後醍醐天皇より百萬遍の名を賜ったといえます。境内には正面に法然上人の御影像を祀った御影堂があり、東に本堂である釈迦堂、西に阿弥陀堂が立ち並びます。毎月15日(8月のみ25日)には写経会があり13時からの御影堂での法要では大念珠繰りが行われます。



百万遍知恩寺